

ご町内のみなさん。おはようございます。日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。日頃よりあたたかいご支援をいただき本当にありがとうございます。この場をお借りしましてお訴えをさせていただきます。大変お騒がせしますが、しばらくの間ご協力をお願いいたします。

さて、みなさん。いよいよ、総選挙が目前に迫ってまいりました。

私たちは、国民いじめの、いまの政治を、大本から切り替えるため、比例中国ブロックで、中林よし子元衆議院議員の議席回復に全力をつくしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、みなさん。今度の総選挙は、自民か民主かの政権選択の選挙だと、よくいわれます。

たしかに、弱いものいじめの、自民、公明の政治は、もうごりごりです。そういう意味では、少しでも、よい良い社会を、と思われる、みなさんのお気持ちは、私たちの思いと同じです。私たち日本共産党は、そのために全力をつくしてまいります。

しかし、問題は、自民、公明の悪政を、民主党や国民新党が、本当に変えることができるのか、という点にあります。

私たちが、国民生活の充実を訴えると、自民党、公明党はもちろん、民主党までも、「財源がない」と主張して、消費税の値上げの議論に入ります。

しかし、1989年に消費税が導入されて以来、私たちが、納めた消費税は、213兆円。同じ期間に、大企業を中心とした法人への減税は、182兆円です。私たちが、納めた、消費税の大部分は、大企業の減税の、穴埋めに使われただけで、福祉や医療に使われたわけでは、決してありません。

資本金10億円以上の大企業は、この間、史上空前の大儲けを上げてきましたが、国に払う税金は、減税、減税の連続で、かつての、3割も少なくなっています。

にもかかわらず、自民党、公明党はもちろん、民主党も、国民新党も、こうした、異常な財界、大企業中心の政治を変える、とは、絶対にいえません。

それは、西松建設から、自民党と民主党の幹部が莫大な、政治献金を受けていたことから、わかるように、これらの政党が、財界、大企業に逆らうことができない、体質をもっているからです。

これでは、どちらが政権を担っても、国民いじめの、いまの政治を、変えることはできないのではないのでしょうか。

私たち、日本共産党は、大企業からも、団体からも、政治献金を一円ももらっていない、清潔な政党です。

だから、大儲けしている大企業や大資産家への適正な課税、軍事費の削減、米軍再編への税金の投入をやめさせ、それを国民生活に使うことを、堂々と、主張することができます。

ご町内のみなさん。くらしの問題でも、平和の問題でも、国民の立場でがんばる、日本共産党を、大きく躍進させていただくことが、政治の中身を変える決め手です。

比例中国ブロックで日本共産党の議席が回復すれば、中林よし子元衆議院議員が国会でがんばります。みなさんの期待に必ずこたえます。みなさんのお力をぜひお貸しくください。

比例代表は、日本共産党と、政党名で、小選挙区は、候補者名で投票することになっています。

どうか、みなさんのお力で、日本共産党を大きく躍進させていただけますよう、心からお願いいたしまして、お訴えとさせていただきます。どうか、最後まで、よろしくお願いいたします。